

平成25年度地区衛生組織活動資金募集

募金は公衛協の自主財源

～地域ぐるみ活動にご協力を～

地区衛生組織活動資金募集は、昭和35年に世界保健デーの4月7日を「健康感謝の日」と定めて以来、健康で暮らせることに感謝し、人々の健康増進をはかる地域ぐるみの活動をしようと毎年募金活動を実施し、今年で54回目を迎えます。

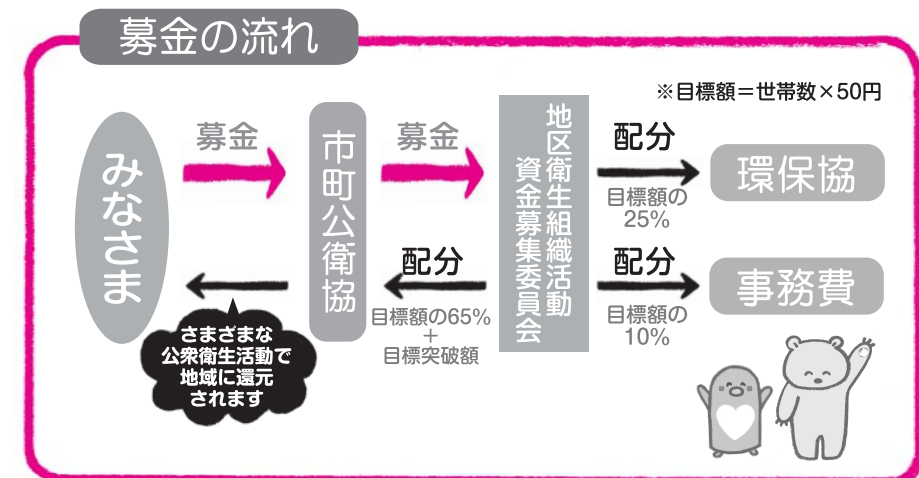
募金事業の円滑な展開を図るため、今年度から、「健康感謝募金」という通称を「環境・健康募金」に変更して実施します。

集められた募金は、各市町公衛協・環保協・事務費に配分され、さまざまな公衆衛生活動に役立てられます。平成24年7月9日に住民基本台帳法が改正され、外国人を含む世帯数×50円で目標額を設定することになりました。従来の配分比率では市町公衛協への配分額が減り、公衆衛生活動への影響が懸念されるため、十分な活動資金を確保できるように、目標額の65%+目標突破額を公衛協へ、環保協と事務費はそれぞれ25%と10%に配分比率を変更します。(下図参照。)

公衛協に配分された募金は、道路・河川などの美化活動やイベントのごみの分別指導、子どもたちを対象とした水辺教室や脱温暖化学習会、健康づくりのための料理教室やウォーキング大会の開催に係る経費など、地域の環境づくり、健康づくりの活動資金に充てられます。

公衛協によって用途は異なりますので、詳しくは各公衛協事務局へお問い合わせください。

また、環保協配分金は、公衆衛生推進手帖や全県共通事業(重点メニュー)の提供グッズの作成などに、事務費配分金は、募金事業をPRするポスターやチラシ、募金回収袋の作成などに活用しています。



脱温暖化推進員フォーラム2013

現在は、328人の地球温暖化防止活動推進員が県内各地で活動している。脱温暖化センターひろしまは、推進員が活動事例や課題・情報等を共有し、今後の活動のあり方を一緒に考え活動の環を広めようと、2月28日、西区民文化センターで「脱温暖化推進員フォーラム2013」を開催。推進員のほか、地域協議会や公衛協関係

者など73人が参集した。まず、「隣県の取り組みを聞いてみよう」と題し、山口県と岡山県の事例紹介を行った。山口県宇部市地球温暖化対策ネットワークの亀田修氏と松井民男氏は、

多様な情報交換や交流の場に

産・官・学・民の相互理解と協力のもと、市民を巻き込み展開するさまざまな活動を紹介。岡山県地球温暖化防止活動推進センターの秋山沙織氏は、推進員の活動状況や事業を継続・拡大

産・官・学・民の相互理解と協力のもと、市民を巻き込み展開するさまざまな活動を紹介。岡山県地球温暖化防止活動推進センターの秋山沙織氏は、推進員の活動状況や事業を継続・拡大

診断事業を中心に紹介した。町づくり脱温暖化やすらひは、山から海までの地理的条件を活かしたさまざまな活動を紹介。脱温暖化ぬまくまフォーラムは、出前講座の一部を実演した。



最後に、当センターの来年度事業の展開について説明し、連携や協力を呼びかけた。

今後、推進員のレベルアップと交流を図る場を提供し、推進員とともに低炭素社会に向けた活動を展開していく。

最後に、当センターの来年度事業の展開について説明し、連携や協力を呼びかけた。

今後の活動への意欲が感じられた。今後も、推進員のレベルアップと交流を図る場を提供し、推進員とともに低炭素社会に向けた活動を展開していく。

環境と健康の学習ルーム 貸し出しグッズ紹介

⑥ 新グッズの紹介

当協会では、地域で行われるイベントや学習会などで活用する、さまざまなグッズを貸し出しています。シリーズ最終回は、新たに導入したグッズを紹介し

◆浮き浮き実験器

付属のハンドルを回して発電した電気でプロペラを回し、風船や発砲スチロール容器を浮かせる実験器。ハンドルを回す速さで、風船の浮き上がる高さが変化します。一定の高さでどれだけ長く浮かせるかに挑戦し、電気を作るにはどれだけエネルギーが必要かを体感できます。

◆手回し発電機セット「エレチェンジャー」

手回し発電機のハンドルを回して電気を作り、蓄電したり、光(豆電球が点灯)・音(オルゴールが鳴る)・運動(プロペラが回転)・熱(発熱が触って分かる)に変換できるので、作った電気がさまざまな力に変

化する様子を手にとって体感できます。

◆光のまと当て実験器

反射鏡を使って、太陽電池素子板に太陽光を集めて発電し、オルゴールとプロペラを動かす実験器。発電量によって、オルゴールのメロディーとプロペラの回転速度が変化し、集めた太陽光エネルギー量の違いが体感できます。

◆赤外線放射温度計

-40~450℃までの物体の表面温度を非接触で瞬時に測定できる機器。測定場

新たな体験型グッズが仲間入り 楽しく省エネ意識の向上へ



新グッズ【浮き浮き実験器】(上)、光の当て実験機(下)

所が一目で分かる赤いレーザーマーカー付きで、暗い場所でも温度表示値が確認できるよう、液晶バックライト機能も付いています。建物や窓の遮熱・断熱効果の検証、緑のカーテンによる壁や床の温度の確認などに活用できます。

今後もみなさまの活動に役立てていただけるグッズの発掘と整備に努

めていきます。グッズに関する要望がありましたら、ぜひご連絡ください。

【連絡・問い合わせ先】

地域活動支援センター:082-293-1512

(地域活動支援センター)